



ケアサポート敬老祝賀会

恵み野ケアサポート 藤田

去る平成29年9月9日（土）に、第22回敬老祝賀会が、盛大に執り行われました。当日は、利用者様はもとより、ご家族様等の多数の参加を頂きました。

式典では、利用者様代表の方よりご挨拶を頂戴し、施設からはご長寿番付の発表の後、恵み野ケアサポートの名前入り扇子を記念品として利用者様全員へ贈呈させて頂きました。会食場面ではご参加頂いたご家族様も一緒に、敬老の日をお祝いさせて頂きました。

午後の部では、恵庭ギター同好会の方々によるギターアンサンブル、恵庭紅鳥によるよさこい演舞をお披露目頂きました。利用者の皆様にはとても楽しんで頂けたのではないかと思います。

今回の敬老祝賀会は北海道ハイテクノロジー専門学校の学生さんや一般ボランティア、さらには日頃より施設運営にご協力頂いている地域の方々のご協力もあり無事に運営できました。職員一同より感謝申し上げます。



病院敷地内禁煙のお知らせ

平成20年7月1日より、当院の病院建物内および駐車場、通路を含む

敷地内での喫煙は禁止となっております。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



恵み野病院ホームページアドレス：<http://megumino.or.jp>





～冬の感染症対策～

インフルエンザ

恵み野病院 感染制御チーム
感染管理認定看護師 嶋貫祐子

インフルエンザとは

インフルエンザは、インフルエンザウィルスに感染することで引き起こされる呼吸器感染症です。乳幼児や高齢者、心疾患や血液疾患など基礎疾患を持っている方が感染すると重症化することもあります。



症状

風邪と間違われやすいインフルエンザですが、風邪と比べて症状の発現が急激で重く、筋肉痛や関節痛を伴う高熱、咳や喉の痛みなどの症状が出ます。

1～4日間の潜伏期の後、高熱と共に発症し、多くの場合は1週間程度で治癒します。

乳幼児や高齢者、基礎疾患を持つ方では、症状が長引いたり、肺炎を併発したり、基礎疾患が悪化したりすることもあります。

罹ってしまった時の対処法

もしインフルエンザに罹ってしまったら、まずは、早い段階で病院を受診し適切な治療を受けることが重要です。発症後48時間以内に抗インフルエンザ薬を服用または吸入、点滴することで症状が軽減されることが期待できます。

また、一般的には以下の対処法があります。

- ①安静にして十分に休養をとる
- ②部屋の温度、湿度を適切に保つ（温度18～22℃、湿度50～60%）
- ③水分を十分に取る

注）水分制限が必要な方は、主治医に相談してください



罹らないための予防法

インフルエンザは、インフルエンザに感染した人の咳・くしゃみに含まれるウィルスを鼻腔や気管に吸い込むことで感染します。感染の多くは、この様な「飛沫感染」で感染します。

その他、インフルエンザに感染した人の咳・くしゃみが付着したドアノブやテーブルなどの環境表面を手で触れることで、ウィルスを鼻や口に運び「接触感染」が成立することもあります。



咳エチケット（マスクの着用）

インフルエンザの流行期では、インフルエンザに感染した人の咳やくしゃみなどの飛沫から感染しない様に、マスクを着用して口や鼻からのウィルスの侵入を防ぎます。

また、自身がインフルエンザに感染した場合も同様に、他の人へインフルエンザを移さないためにマスクを着用します。



手指衛生

インフルエンザ流行期では、環境を介してインフルエンザウィルス感染の恐れがあります。そのため、外出から戻った時、飲食をする前、咳やくしゃみをした後、鼻をかんだ後などでは手指衛生を行います。

手指衛生には2つ方法があります。①流水と石鹸での手洗いと、②速乾性アルコール手指消毒剤による手指消毒です。

手に目に見える汚れがある時、咳・くしゃみなどで飛沫した唾液などの付着がある場合は①流水と石鹸での手洗いをします。手に目に見える汚れがない場合は②手指消毒を行います。

重症化を防ぐための方法

インフルエンザの重症化を防止するためには、予防接種の実施が有効です。予防接種を受けてインフルエンザウィルスに対する免疫を獲得することで、感染しても症状が軽く早期に治癒することが期待できます。

一般的に、予防接種から免疫獲得するまで2週間を要するとされています。インフルエンザが流行する前に予防接種を行い備えましょう。



11月1日(水)よりインフルエンザワクチン接種の予約を開始いたします。

1階「診療予約コーナー」または「お電話」にてお申込ください。

Tel.0123-36-7555（インフルンザ予約担当）

